



主体的・対話的で深い学び の実現をめざして

麻生総合高校の授業改善に向けた取り組み

麻生総合高校では、新しい学習指導要領に掲げられている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、組織的な授業改善に取り組んでいます。

令和2（2020）年度は、学校教育目標とグランドデザイン、授業改善全体テーマ、令和2年度重点項目を踏まえて、各教科において教科での学びを通して育成したい資質・能力を検討し、具体的に取り組むアクションをまとめました。現在はアクションプランに基づいた授業の実施と改善に取り組んでいます。

今後、PDCAサイクルの観点から、各教科で中間検証と年度末検証を行い、年度末には全体での成果報告会などを予定しています。また研究授業の相互参観や授業改善研修会の開催などを通して、各教員の実践の共有と授業力向上を図ります。

授業改善 全体テーマ	「主体的・対話的で深い学びの実現をめざして」
令和2年度 重点項目	<ul style="list-style-type: none">ICT（G-suite等）の活用学ぶ意欲、関心を高める授業展開（単元設計）成績評価の改善（多面的評価、ルーブリックの活用等）

1. 国語科

（1）教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	コミュニケーションの基本となる基礎的語彙と言語運用能力
②	他者の言葉を正確に理解し、受容したり批判したりする能力
③	言語による自己表現力と社会性

（2）具体的なアクション

①	小テストを計画・実施し、到達度を明確化する。
②	多面的な評価が行えるよう、ルーブリックの項目を工夫する。
③	ICTを活用するなどして意見発信、交換の場を設定する。

2. 地歴公民科

(1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	主体的に社会の動きや歴史、地理的事象に関心を持ち探求しようとする姿勢
②	基本的な知識を身につけ、何が理解できているかを自分で分析できる能力
③	資料などを用いて根拠をもとに自分の言葉でなぜ、どうしてを考察する能力

(2) 具体的なアクション

①	ICTを活用し、授業内容と実社会が関わる資料をこまめに授業で取り上げ、生徒の学習に対する興味、関心を高める。
②	単元や毎時の授業で確認テストを実施し、知識の定着を図る。
③	単元（授業）の問いを生徒に示し、資料を活用しながら自分の言葉で問いに対する考えをまとめさせる。生徒の記述や発表等を評価する際は、ルーブリックを活用し適切に生徒にフィードバックする。

3. 数学科

(1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	基礎的な知識及び技能の習得とその定着
②	問題を粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し解決しようとする態度
③	思考の課程を可視化できるよう、簡潔・明瞭・的確に表現する力

(2) 具体的なアクション

①	小テストを単元ごとや授業ごとに行うよう計画・実施する。
②	応用問題も扱い、既習内容から未習内容を導ける機会を設定する。
③	途中計算や考え方を書かせる。

4. 理科・農業科

(1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	自ら観察・実験などを行い、科学的に探究しようとする能力
②	自分の身の回りにある自然の事物・現象に興味をもつ能力
③	科学的に物事を考える上で必要な、基礎学力

(2) 具体的なアクション

①	実験・観察を行えるよう、実験室の環境を整備し、授業計画を充実させる。
②	ICT 機器を活用し、身の回りの事物・現象と学習内容を結びつける。
③	基礎的な確認テストを定期的実施する。

5. 保健体育科

(1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	主体的に運動の特性に応じた技能、社会生活における健康・安全についての知識に関心を持ち、理解しようとする姿勢
②	運動や健康について発見した自他の課題解決のために、自分の言葉で考察し、伝える能力
③	生涯にわたって継続して運動に親しむ態度と、技能を身につけ何ができているかを自分で分析できる能力

(2) 具体的なアクション

①	知識の定着（資料やICTの活用等）を図り、スパイラル型の授業展開をする。
②	単元の問いを生徒に示し、自分の考えを言葉でまとめさせる。
③	ゲームや実技テスト、定期的な振り返りシートを実施し、自己の目標の明確化と技能の定着を図る。

6. 芸術科

(1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	芸術を通して主体的に自己表現をしようとする姿勢
②	主体的・対話的学びから他者を受け入れ、多様性を認める能力
③	芸術作品に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとする姿勢

(2) 具体的なアクション

①	生徒の実態に合った題材を設定し、主体的に取り組めるようにする。
②	互いに発表し合う機会を多く設ける。
③	ICTを活用し、生徒の興味・関心を高める授業の工夫をする。

7. 外国語科

(1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	教科書を通して理解したことを元に自分の考えを表現し、伝え合う力（思考力、判断力、表現力等）
②	学習に粘り強く取り組み、自己を成長させていく態度（学びに向かう力、人間性等）

(2) 具体的なアクション

①	パフォーマンステストを行う際に、教科書の内容と関連付けたり、発展させたりできるように目標設定を工夫する。
②	5領域の中で、科目に応じた適切な支援を行い、「すべての生徒が科目ごとの一定の水準をクリアし、達成感を得られる」ように配慮する。

8. 家庭科

(1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	自分らしい生き方・暮らし方に興味をもち、探求しようとする姿勢
②	様々な情報の中から、自分にとってのよりよい生活を考える能力
③	よりよい生活をめざす上で必要な知識や生活技術

(2) 具体的なアクション

①	生徒の実生活に結びつく題材を設定し、実習内容を工夫する。
②	単元や毎時の授業で自分の考えをまとめさせる。
③	ICTを活用し、生徒の興味・関心を高め、生活技術を向上させる工夫をする。

9. 情報科

(1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	情報を適切に扱い、自らの情報活用を評価・改善するための能力
②	情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力
③	生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や影響を理解し、情報モラルの必要性や責任について考える能力

(2) 具体的なアクション

①	タイピング練習等を毎時間実施し、情報機器の扱いを習熟させる。
②	社会の情報化に関する問題を取りあげ、言われたことを記入するだけでなく自身の考えを発表、共有する機会を設ける。
③	筆記や実技の小テストを単元毎に実施し、知識や技能の定着を図る。

10. 商業科

(1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	ビジネスに関する基礎知識、ビジネスに携わる際の基礎技能
②	経済や経営に関する社会の動きに興味を持ち、理解する能力
③	企業活動が社会で果たしている役割を理解し、自己の社会との関わり方に活かしていく能力

(2) 具体的なアクション

①	毎時間最新の事例を紹介し、能動的に学ぶ姿勢を身に付けさせる。
②	実際に社会で起こっている事柄の理由や意味について考える癖を身に付けさせる。
③	実際に自分が経済活動を通して社会にかかわっていく心構えを学ばせる。